

各位

会社名 PHCホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長CEO 宮崎 正次
 (コード: 6523、東証プライム市場)
 問合せ先 経営管理部 上席部長 木村 正志
 (TEL. 03-5408-7280)

減損損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

PHCホールディングス株式会社は、2023年3月期において減損損失を計上する見込みとなったこと、また、2023年2月10日公表の2023年3月期第3四半期決算短信にて公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

1. 病理資金生成単位におけるのれんの減損損失の計上について

当社の会計基準である国際会計基準(IFRS)に基づき年次の減損テストを実施した結果、病理資金生成単位において約87億円ののれんの減損損失の計上を見込んでおります。これは主に、加重平均資本コストを算出する際の金利(リスクフリーレート)等の上昇によるものです。病理事業の売上収益は増加傾向にあり、さまざまな施策によりマージンも改善傾向にあるものの、加重平均資本コストの上昇を補うには十分ではありませんでした。

2. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期の連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	調整後 EBITDA* (百万円)	税引前 利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益 (百万円)	キャッシ ュベース での親会 社の所有 者に帰属 する当期 利益* (百万円)	基本的1 株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	358,317	33,604	69,300	17,638	9,918	9,709	26,000	77.91
今回修正予想 (B)	356,400	19,900	64,800	200	△3,200	△3,300	22,400	△26.82
増減額 (B-A)	△1,917	△13,704	△4,500	△17,438	△13,118	△13,009	△3,600	△104.73
増減率 (%)	△0.5%	△40.8%	△6.5%	△98.9%	—	—	△13.8%	—
(参考)前期連 結実績(2022 年3月期)	340,452	8,174	71,872	3,002	△8,300	△8,460	24,822	△70.78

(注) 調整後EBITDA及びキャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する当期利益を以下の算式により算出しております。

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失(有価証券等を除く)

キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益 + M&A関連収益・費用(償却資産) + 減損損失(有価証券等を除く) + 転換権付貸付金時価評価収益・費用 + 法人税見合い調整額

* 調整後EBITDA及びキャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する当期利益は、国際会計基準(IFRS)に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

(2) 修正の主な理由

上記1. の減損損失の計上に加え、主に以下の理由により業績予想を修正いたします。

- ・糖尿病マネジメント及びヘルスケアソリューションにおける2023年3月期第4四半期の利益率の低下
2023年3月期第4四半期に、糖尿病マネジメントにおいて米国のBGMセンサの販売量が想定を下回り推移しつつコストが想定より増加したことに加え、ヘルスケアソリューションのLSIM事業において通常検査の需要及び新型コロナウイルス関連検査の収益性が想定を下回り推移しました。これらの影響を主として前回発表予想比で合計約30億円の減益となる見込みです。
- ・Senseonics Holdings, Inc. に対する転換権付貸付金に係る公正価値の低下
当社が保有するSenseonics Holdings, Inc. に対する転換権付貸付金(3,500万米ドル)について、公正価値評価に基づき約27億円の評価損を2023年3月期第4四半期に計上する見込みです。なお、当社は2023年4月1日に同転換権付貸付金を同社の新株予約権に交換したことにより、2024年3月期からはIFRSに基づき、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する予定であり、損益計算書に与える影響は無くなります。
- ・インターカンパニーローンにおける為替差損の計上
円安ユーロ高で推移したことにより、ユーロ建てインターカンパニーローンに対して約16億円の為替差損を計上する見込みです。

なお、2023年3月期通期の実績については5月10日開示予定の決算短信にて開示いたします。

3. 配当予想について

当社は、キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する当期利益に対して連結配当性向30%以上を目安とし、中期的には40%を目標として安定的な配当を維持していく方針です。2023年3月期の期末配当金については、1株当たり36円(年間配当金は1株当たり72円)の従来予想から変更はありません。

以 上